

生活指導部 1年間を振り返って

生活指導部

今年度の生活指導部は、安心して学校生活を送れる環境作りに重点を置き、取り組みました。

まず、気持ちの良い挨拶です。本校では、計画委員と各クラスの児童が輪番で玄関での挨拶当番を行っています。一日の始まりを爽やかにスタートさせる取り組みです。挨拶当番をすることで、挨拶の大切さやどんな挨拶が気持ち良く感じるのかを体感します。2学期には、「挨拶は、6年から」を合言葉に、最上級生の6年生が、廊下や階段ですすんで挨拶をする姿も見られました。しかし、残念ながら、学校外や学校に訪問されたお客様に対しては、自分からすすんで挨拶ができるまでには、至りませんでした。引き続き、指導をしていきます。

次に、いじめ防止の取組です。1学期には、全校児童が「いじめ防止行動宣言」を書き、校内に掲示し、意識を高めました。2学期は、それを受け「いじめ防止標語」を作成し、自分の思いを表現しました。道徳の授業の中でも、生活で起こったトラブルを取り上げ、みんなで考える機会にしました。いじめの芽を見逃さず、児童が安心して学校生活を送ることができるよう、取り組んできました。

今後も、よりよい環境を学校全体で作り上げていけるように努めていきます。

今年度の研究のまとめ

研究推進部

本年度は、昨年度に引き続き「深い学びを実現する授業の創造」を研究主題とし、新学習指導要領が告示されたことから副主題を「新学習指導要領を踏まえて」と変更しました。また、国語科、算数科、社会科、生活科、特別の教科道徳、外国語科といった複数の教科について研究を行ってきました。

本年度の研究では、昨年度に研究してきた「深い学びの姿」について改めて検討を重ね、「深い学びの姿」について再設定をしました。その深い学びの姿を実現するためには、授業力向上や改善が求められます。そこで、各教科の学習が生かせる教科横断的な授業構成ができるような単元構成の工夫、各教科等の授業の鍵となる見方・考え方を働かせる工夫、対話的な活動の充実を図るための対話の工夫などの手立てを考え、日々授業実践を重ねてきました。1年間取り組んできたことで、成果と課題が明らかになってきました。それらを踏まえ、子供たちの資質・能力を向上できる授業力向上と改善に努めていきます。

卒業にむけて

6年生

- ・中学校では、人見知りせず多くの友達をつくり、楽しい中学校生活を送りたいです。また、人に頼りすぎず、自律した考えをもてるようにしたいです。(6-1 R・T)
- ・「私がやる。」この言葉が何度喉の奥でつかえただろうか。自覚と責任をもち、困っている人には「頼って。」と手を差し伸べられるような中学生になりたい。(6-1 W・M)
- ・将来は社会に貢献できるような人になれるよう努力を積み重ね、人との関わりを大事にしていきます。自分の考えや意思も大切にしていきたいです。(6-2 R・A)
- ・6年間の学校生活の中で、友達の大切さや協力する良さなどを学びました。中学校では物事に積極的に取り組むことを目標とし、毎日を充実させていきたいです。(6-2 I・I)
- ・友達と遊んだり、勉強を頑張ったりすると同時に、今までお世話になった方々に感謝をして、立派に小学校を卒業しようと思います。(6-3 R・T)
- ・私が目指すのは、自立した中学生。中学生になると、先生から細かい指示もなく、友達に頼るわけにもいけないので、自ら動くことのできる中学生になりたいです。(6-3 A・M)

